

# 文章の要旨をえらぼう

なまえ \_\_\_\_\_

小6／文章を読んで、筆者の主張（要旨）としてもっとも適切なものを1つえらびましょう

ひょうけ

## 1 言葉と文化を よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

言葉は、ただ用件を伝える道具ではない。地域に伝わる方言や、昔から使われてきた言い回しには、その土地に生きた人々のものの見方や感じ方がしみこんでいる。言葉を大切にすることは、そこにこめられた文化や歴史を受けつぐことでもあるのだ。

- 1 言葉は用件を伝えるだけの道具である。
- 2 方言は消えてもかまわない。
- 3 言葉を大切にすることは文化や歴史を受けつぐことでもある。
- 4 言い回しに人の見方は関係ない。

## 2 失敗から学ぶを よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

だれでも失敗はしたくない。しかし、失敗は「なぜうまくいかなかったのか」を教えてくれる貴重な手がかりでもある。失敗をかくしたりおそれたりするよりも、その原因を見つめ、次に生かそうとする人こそ、大きく成長していく。

- 1 失敗はさけるべきで、何も生み出さない。
- 2 失敗は原因を見つめ次に生かすことで成長につながる。
- 3 失敗はかくすべきである。
- 4 成長する人は失敗をしない。

## 3 多様性の意味を よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

人にはそれぞれちがう考えや個性がある。意見がぶつかると思えども思えないかもしれないが、さまざまな見方が集まるからこそ、一人では気づけなかった新しい答えが生まれる。ちがいをみとめ合うことは、社会をより豊かにする力になる。

- 1 みんなが同じ考えをもつべきだ。
- 2 意見のちがいはさけたほうがよい。
- 3 ちがいをみとめ合うことは社会を豊かにする力になる。
- 4 新しい答えは一人で考えたほうが生まれる。

## 4 便利さと引きかえを よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

科学技術の進歩は、わたしたちの暮らしを大きく便利にしてきた。しかしその一方で、資源の使いすぎや環境へのえいきょうといった新たな問題も生んできた。便利さを求めるだけでなく、その代わりに何を失うのかを考えることが、これからの社会には求められている。

- 1 科学技術は問題を何も生まない。
- 2 便利さだけを追い求めればよい。
- 3 科学技術の進歩は便利さしかもたらさない。
- 4 便利さの代わりに何を失うかを考えることが求められる。

🔍 いちごドリル プリント

# 文章の要旨をえらぼう

なまえ \_\_\_\_\_

小6／文章を読んで、筆者の主張（要旨）としてもっとも適切なものを1つえらびましょう

ひょうけ

## 1 読書の力を よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

本を読むと、行ったことのない場所や、会ったことのない人の考えにふれることができる。自分とはちがう立場や時代を生きた人の思いを知ること、ものの見方が広がっていく。読書は、自分の世界を大きく広げてくれる営みなのである。

- 1 読書は時間のむだである。
- 2 読書は自分の世界を広げてくれる営みである。
- 3 本には自分と同じ考えしか書かれていない。
- 4 読書ではものの見方は変わらない。

## 2 自然とのつき合い方を よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

人は自然から多くのめぐみを受けて生きている。しかし、自然を思うままに変えようとするれば、災害という形でしっぺ返しを受けることもある。自然を支配するのではなく、そのしくみを理解し、うまくつき合っていく姿勢が大切だ。

- 1 人は自然を思うままに支配すべきだ。
- 2 自然からめぐみは受けていない。
- 3 自然のしくみを理解し、うまくつき合う姿勢が大切だ。
- 4 自然は人と関係なく存在している。

## 3 時間の使い方を よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

時間はだれにでも一日二十四時間と平等にあたえられている。しかし、その使い方しだいで、身につくものは大きく変わる。何となく過ごすのではなく、自分にとって大切なことに時間をかける人が、実りの多い毎日を送ることができる。

- 1 時間は人によって長さがちがう。
- 2 時間はどう使っても結果は同じだ。
- 3 大切なことに時間をかける人が実りの多い毎日を送る。
- 4 時間は気にせず過ごすのがよい。

## 4 協力の力を よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

一人でできることには限りがある。しかし、それぞれが得意なことを持ちより、力を合わせれば、一人では成しとげられない大きなことも実現できる。たがいの長所を生かして協力することは、集団が大きな成果を上げるための鍵である。

- 1 一人でできることに限りはない。
- 2 協力してもよい成果は生まれない。
- 3 たがいの長所を生かした協力が大きな成果の鍵である。
- 4 得意なことは持ちよらないほうがよい。

🔍 いちごドリル プリント

# 文章の要旨をえらぼう

なまえ \_\_\_\_\_

小6／文章を読んで、筆者の主張（要旨）としてもっとも適切なものを1つえらびましょう

## 1 伝統を受けつぐを よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

祭りや工芸などの伝統は、長い年月をかけて受けつがれてきた人々の知恵と工夫の結晶である。時代とともに変わっていくものも多いが、その中で守られてきたものには、今を生きるわたしたちが学ぶべき価値がふくまれている。伝統を知ること、自分たちの根を知ることでもある。

- 1 伝統には学ぶべき価値はない。
- 2 伝統は古いので捨てるべきだ。
- 3 伝統を知ことは自分たちの根を知ることでもある。
- 4 伝統は一年で作られたものだ。

## 2 問い続けることを よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

答えのわかっていることを覚えるだけが学びではない。「なぜだろう」「本当にそうだろうか」と問いを持続けることこそ、新しい発見の出発点になる。当たり前だと思われることを問い直す姿勢が、学問や社会を前へ進めてきたのである。

- 1 学びとは答えを覚えることだけである。
- 2 問いを持つことは学びのじゃまになる。
- 3 当たり前を問い直すことは意味がない。
- 4 問いを持続けることが新しい発見の出発点になる。

## 3 情報を選ぶ力を よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

社会には、あふれるほどの情報が飛びかっている。その中には正しいものもあれば、まちがったものや、人をまどわせるものもある。多くの情報にふれられる時代だからこそ、何が正しいかを自分で考え、選び取る力がいっそう大切になっている。

- 1 情報は多いほどそのまま信じてよい。
- 2 情報を選び取る力がいっそう大切になっている。
- 3 社会に飛びかう情報はすべて正しい。
- 4 情報は自分で考えず受け入れればよい。

## 4 努力の積み重ねを よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

大きな目標は、いっぺんに達成できるものではない。今日できる小さなことを、あきらめずに続けていく。その積み重ねが、気づいたときには大きな力になっている。地道な努力を続けられることこそ、目標に近づく確かな道なのである。

- 1 大きな目標はいっぺんに達成できる。
- 2 小さな努力は積み重ねても意味がない。
- 3 努力より運のほうが大切だ。
- 4 地道な努力の積み重ねが目標に近づく確かな道である。

🔍 いちごドリル プリント